５　ルール並びに競技上の注意

本大会は現行の日本卓球ルールに準じて実施します。競技方法について、11点制の５ゲームスマッチで行います。団体戦はすべて３点先取で行います。（４Ｓ、１Ｄ、３番Ｄの６人制で行う）

1. 服装について

競技用の服装は規定の半袖シャツ、ショートパンツ、またはスカートとします。団体戦での選手の服装は同一の規定の物とします。所属中学校に関係のない文字やシンボルマーク等あるものは着用を認められません。

また今大会においては相手チームとユニホームが同一の場合、変更する必要はありません。

尚、主たる色は本大会の使用球の白色と明らかに違う色でなくてはなりません。競技者だけでなく監督、コーチの服装もこれに準ずる事をお願いします。ゼッケンは規定の物を背中の真ん中に着用して下さい。

1. サービスについて

オープンハンドの指にかからない手のひらの上にボールをのせ、一旦静止した後１６センチ以上ほぼ垂直

に投げ上げ落下する途中を打球します。この時ボールの位置は常にプレーイングサーフェイス(卓球台)より

上方でかつエンドラインより後方にある事。そしてサービスが開始されてから打球されるまで、ボールはフ

リーハンドや肩、または身に付けているシャツ等でレシーバーに隠してはなりません。違反サービスが繰り返される時はフォルトを取る場合もあります。

1. ラケット、ラバーは公認の物を使用して下さい。ラケット、ラバーの破損、傷、剥がれ、はみ出しの程度によっては、ラケットやラバーの交換が必要となります。

ラバーの張り替えは、本部横の指定場所で行います。また外国製のラケットは審判長の許可が必要です。事前に本部へ申請してください。

1. 使用球はニッタク、ＴＳＰからの選択制です。団体戦では学校ごとの選択、個人戦では選手ごとの選択とします。
2. 試合前の練習は１分とします。
3. アドバイスはゲーム間の１分以内で行ってください。コートを離れてのアドバイスは受けてはなりません。試合中のアドバイザーの移動は許可しますが、交代は認めません。
4. タイムアウトは１マッチに１回、１分以内で要求することができます。団体戦において、同時に複数のコート台を使用して行う時に限り、アドバイザーもタイムアウトを要求することができます。
5. 促進ルールについて

ゲームを開始してから１１分経過した時点において、双方の得点の合計が１８点に達していない場合、その

ゲームについて促進ルールが適用されます。促進ルールが適用された場合、次のゲームからマッチ終了時ま

で自動的に促進ルールが適用されます。

1. バッドマナーについて

競技者（助言者も）が相手の選手や観客に対して不快感を与える様な行為をしたと主審が判断した場合、警

告等が宣告されます。下記はバッドマナーとみなされる例

【遅延行為、スロープレー】【観客席からのアドバイスを受ける等】

【競技役員の指示を無視する、プレー中の助言禁止のルールの無視等】

⑩　競技エリア内での携帯電話やタブレット等の使用も禁止です。